

学びに向かう

コミュニケーション

課題設定・解決力

めさす子ども像
(21世紀型“スキル&倫理”
身に付けた当該学年生徒)

レベル1：自己の「自古御町を旅する」と説明することができる。
レベル2：生徒同士の対話を、教員との対話を通じて、自己の考え方を広げ、深めることができている。
レベル3：精査した情報に基づき、自分の考え方を形成したり、伝えたりすることで、問題を見出して解決を行う探求ができる。

レベル1：他者の意見を容れず、自力で意見を伝えることができる。
レベル2：他者の意見の相違を受け止め、尊重することができ、協力・協同して参画できる。
レベル3：意見の相違に対して代案を示すなどして意見形成し、積極的に社会(集団)を形成することができる。

レバノン1 必要な情報をさがし、説明を段階ごとに。
レバノン2 多様な情報をから必要な情報を選び、自分の体験や経験と結びつけて、課題を設定することができる。
レバノン3 多様な情報を検証・分析し、時間・場所等を踏まえて相手意識をもって課題を設定することができる。
レバノン4 多様な情報を検証・分析し、目的、対象、方法を明確にして社会実生活にかかせるよう課題設定をすることができる。